

西川産業株式会社

代表取締役社長 西川 八一行氏

interviewer 頭取 高橋 祥二郎 取締役東京支店長 小八木 一男

「眠りの質」を高めて、日本を変えよう。 その鍵は、地域の寝具店との共存共栄。

近江で創業し450年。西川産業株式会社は、寝具業界を巡る変化に対応し顧客層を広げる新商品などを投入して市場を切り開いていく。強みは蓄えた睡眠に関する豊富な知見とデータベース。全国に「眠りの相談所」を展開する構想も動き出した。



西川産業株式会社 代表取締役社長 西川 八一行(にしかわ やすゆき)氏

1967年生まれ。95年西川産業株式会社入社、2006年代表取締役社長に就任。新感覚のオーダー枕ショップ「PILLOWY café」や、「スポーツ×睡眠」を切り口にした「AiR」など、新しいコンセプトの商品やサービスを次々と生み出す、攻めの経営を展開。創業450周年を迎える老舗企業でありながら、海外への事業展開など、常に革新を続けながら快適で健康な睡眠を追及し続けている。

社会ニーズが高まる予防医療にも 眠りは大きな役割を持つ

高橋 CSR経営の原点として、海外からも注目される近江商人の「三方よし」。東京に本社を置かれる西川産業さんは、450年もの長い歴史を刻みながらも、近江商人の心を今に伝えておられます。

西川 近江国蒲生郡に生まれた西川家初代の仁右衛門が、商いを始めた永禄9(1566)年を創業の年と定めています。



「AiR」の特許立体構造を体験する高橋頭取、西川八一行社長、小八木支店長

す。豊臣秀次の八幡山城築城に関わった縁で、その城下に出店したものの、秀次の失脚によって仁右衛門は江戸に活路を求めました。その際、指針にしたのが「どこへ出ようと、その地で必要とされる存在であれ」という近江商人の魂。それを代々受け継ぎ、精励してきたことが、西川産業の「いま」を築きました。

高橋 長い歴史の中で積立金制度や日本初のボーナス「三ツ割銀制度」を実施されるなど、数々の経営改革を行ってこられてますね。また、十一代目の甚五郎氏は当行の前身となる八幡銀行設立に助力され、取締役を務められるなど深いご縁があります。現在の西川産業さんは「一人ひとり」がもつと手軽に、自分に合った寝具を正しく選び、眠りの質を高めることのできる社会へ」を



利益を三分する近江商人の「三ツ割銀制度・預り帳」

テーマとされていますが、「眠りの質」はなぜ大切なのでしょう。

西川 睡眠は脳の進化とともに発達してきました。他の動物よりも脳を多く使う人類にとって、睡眠による脳の休息は極めて大きな意味を持ちます。ぐっすり眠る質の良い睡眠は疲労回復やストレス緩和に役立ちますし、免疫力の向上などアンチエイジング(抗老化)につながる働きもします。

高橋 医療費に国の財政が圧迫される中で、病気を未然に防ぐ予防医療への期待が高まっていますが、「眠りの質」はそこにも関わるわけですね。

西川 西川産業は1958年に打ち直し不要の「合繊安眠デラックスわた」を開発して寝具革命を起こしました。私たちは長年培った寝具製造技術を基盤に据えながら、良質で心地良い寝具の提供に尽力してきました。さらに、お客さま一人ひとりに最適な寝具を選んでいただくお手伝いや、香りや光といった眠りに関する要素を包括的に提案するなど、睡眠に対しての意識を高めることで日本の眠りを変えようと努めています。スローガンは「眠りの革新が、明日を変える」です。

小八木 たしかに、日本人はそれほど睡眠を大切にしていらないように思います。



日本睡眠科学研究所では、一人ひとりの体圧分散状態を測定する

30年余りも蓄えてきた 睡眠に関する科学データ

西川 経済協力開発機構(OECD)による先進国の平均睡眠時間ランキングでは、トップのフランスの1日当たり530分に対して、日本は韓国に次いで短い470分と8時間を切っています。寝ないで働くことを美德とする価値観がこの国には残っていますが、睡眠不足のままの良い仕事ができるのでしょうか。眠りへの意識を変える。そこが私たちの挑戦の出発点なのです。

高橋 「眠りの質」を追求する日本睡眠科学研究所を84年に設立されています。

社 是

「誠実」「親切」「共栄」。

この西川産業のモットーは、お客様、販売店、仕入先をはじめ西川産業をとりまくすべての人々に対する姿勢に表れています。「共栄」の実現は人間性の尊重を基本とした人間関係の中で、「誠実」「親切」を通してのみ実現できるものと考えています。

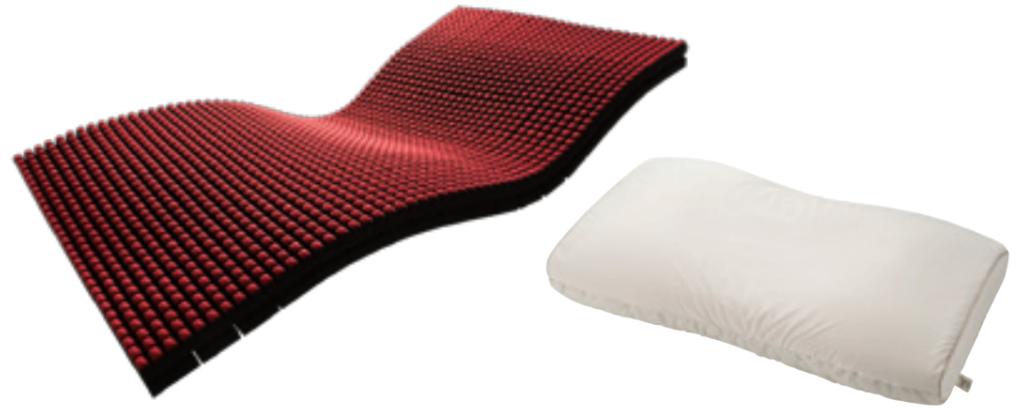
会社概要

西川産業株式会社

- 本社/東京都中央区日本橋富沢町8-8
- 資本金/9億150万円
- 従業員数/971名
- 事業内容/寝具・寝装品・インテリア用品・ベビー用品等の製造卸売業、介護用品・介護機器・健康機器の製造卸売業、その他
- URL/http://www.nishikawasangyo.co.jp

沿革

- 1566年 初代仁右衛門が蚊帳・生活用品販売業を開始
- 1615年 江戸日本橋に出店
- 1750年 京都に京都(現・京都西川)を開設
- 1876年 大阪本町に大阪店(現・西川リビング)を開設
- 1958年 「合織安眠デラックスわた」を開発
- 1960年 「西川チェーン」結成
- 1970年 新合織わた「ファロン」を開発・販売
- 1971年 海外デザイナー エマニエル・ウングロと提携
- 1984年 日本睡眠科学研究所を設立
- 2009年 コンディショニングマットレス「AIR」を開発・販売
- 2010年 中国法人・東京西川(上海)商貿有限公司を設立
- 2015年 新トータル寝具ブランド「&Free」を開発・販売
- 2016年 創業450年を迎える



眠りを深化させる特殊立体構造の「AIR」

きめ細やかな測定とコンサルティングから生まれる「オーダー枕」

西川 良い寝具づくりを裏付ける科学データの必要性を感じたからですが、世界的にみても先進的な取り組みだったと思います。30年以上にわたって、室内環境の変化が睡眠状態とどう関わるか、どんな条件が眠りにとって最適なかなど、豊富な知見とデータを蓄えてきました。

人が本来持つ心身の再生力を引き出す寝具です。

高橋 「AIR」では、パーソナルフィットティング機能を備えた「コンディショニングショップ」を12店舗ほど展開されていますが、「西川チェーン」に加盟している寝具店さんに「&Free」を軸にした「眠りの相談所」になっていただく構想も進めておられます。

西川 「眠りの相談所」は、地域住民一人ひとりの「眠りの質」を高めるためのカウンセリングストアです。お悩みについてのアドバイス、睡眠状態の計測などを行い、寝具だけでなく住まいの環境まで、お客さまの健やかな快眠環境を総合的に提供します。寝具店さんには、最適な品ぞろえや店舗の演出をはじめ、出店される場合は細やかなサポートも実施。広告、チラシ等のプロモーションは当社が全面

高橋 先ほど見学させていただきましたが、マットレスに横たわって体圧分散状態を測る装置がありました。

西川 就寝中の身体にかかる圧力は筋肉の負担、血液やリンパ液の循環と関わり、心身を爽快に維持するうえで重要なバロメーターになります。基本は「立っている状態の自然な姿勢」を睡眠時にも保てるのがベスト。最適な眠りを提供するマットレスを作るために、一人ひとりの体圧分散状態を測っているのです。体調維持が常に求められるアスリートの方もよく来られ、測定されています。枕についても最適な商品を提案するため、後頭部の形を測るフィッティングを行います。

高橋 従来の寝具に「フィッティング」という価値を加え、満足度を高められているのですね。

高機能マットレス「AIR」は新世代への新たなチャレンジ

西川 当社では「商品に価値を付加して提供する」手法を重視し、フィッティングや眠りに関するカウンセリングなどのサービスを寝具と同等の価値と考えて、コンセプトである「眠りの質」を追求してきました。過去に西川家二代目の甚五郎氏が春先に萌え出る若葉のような萌葱もえぎ色に染めた近江蚊帳かやを考案し大ヒット

させましたが、そこには彩りという感性の部分で価値を加えた先達の知恵があります。

高橋 御社の知恵はその当時から受け継いで来られているのですね。

西川 いま、この手法を重視する背景には「良品さえ作れば売れる時代」の終焉もあります。寝具業界全体の現在の市場規模は1兆3千億円弱とされていますが、家族構成やライフスタイルの変化によって縮小が続く、当社のような品質を重視する商品はとりわけ厳しい環境にあります。この状況を切り開く新たなチャレンジが、社長就任後、私のテーマになりました。

高橋 若い世代や男性など、新しい顧客層を意識した高機能マットレス「AIR」も、その一つですね。

西川 特殊立体構造で体圧分散や姿勢保持の機能を高めた「AIR」は、日本睡眠科学研究所が蓄えたデータがあればこそ開発できた商品です。「スポーツ」を切り口として有名アスリートをプロモーションに起用。若年層や男性への訴求・浸透を図りました。2009年に発売したところ、予想以上の大ヒットとなり、それまで女性や高齢者が中心だった西川ファンの層が広がったこと、眠りに関する科学的知見を生かせたことで、大きく



快眠空間を創造する新ブランド「&Free」コーナーで

的に担います。特に注力するのが、カウンセリング能力を身につけてもらう仕組みです。眠りに関するさまざまな資格制度を設け、寝具店さんに受講していただきます。「スリープマスター」や「ピロアッドバイザー」などと呼ばれる「眠りのプロ」がすでに8千人以上育っています。

小八木 寝具需要の縮小に加え、小売りチャネルが多様化したことでも、地方の寝具店の多くが打撃を受けておられます。御社の「眠りの相談所」構想は、地域経済に好循環をもたらす起爆剤になりそうですね。

科学的データを活用して予防医療や海外市場を開拓

西川 1960年に国内初のボランタリーチェーンである「西川チェーン」を設立して以来、加盟店さんに販売を委ねて

きました。その販売チャネルを現在に対応するように変化させながら、共存共栄の道を目指しています。そのカギになるのが「眠りの相談所」。ITを活用すれば、当社が蓄えた知見やデータを加盟店さんに活用してもらえます。地方経済が厳しい状況にあると言われていますが、「西川チェーン」加盟店の皆さんは元気ですね。当社で資格を取得された加盟店さんの中には、快適睡眠と最適寝具を勉強したことで、店舗展開など事業意欲を高めた方も少なくありません。

高橋 「眠り」は奥が深いですね。国も「世界に伝えたい日本の知見」の一つに睡眠を選び、筑波大学・国際統合睡眠医学研究機構がプロジェクトを推進されていますが、御社はそちらにも関わっておられますね。

西川 機構が進める基礎研究を側面支

ステップアップできたと思っています。**高橋** 良質な寝具で睡眠をとる若者が増えることは、未来への期待にもつながりますね。ただ、若者には若干高価なように思えます。

西川 そのフォローのため、ローンなどファイナンスの利用制度も始めています。「AIR」は発売後6年で100億円をを目指すヒット商品に成長しました。

地域社会に活力をもたらす寝具店「眠りの相談所」構想

高橋 新たなマーケットを意識した新ブランドを最近立ち上げられたそうですね。

西川 「&Free」アンドフリーという名前です。コンセプトは「本来持っている、チカラを引き出す」。自分に合った質の高い眠りで、

援するべく、臨床面でお手伝いしています。それ以外にも大学との共同研究を進め、当社の寝具の効用を示すエビデンス(科学的根拠)を収集しています。今後期待される予防医療領域で頼もしい強みになっていくと思います。また、長年の臨床研究が評価され、日本の文化・産業を海外へ発信する国の「クール・ジャパン」プロジェクトでは、10月にクアランプールに出店したジャパンストアで、「AIR」「&Free」の展開ができました。ここで、「健康と癒やしに役立つ商品で、世界の人々の心をとらえる」ことに挑んでいきたいと思っています。**高橋** 時間をかけて蓄えられた睡眠の科学データが、多様な花を咲かせ始めたようですね。本日は眠りの大切さを学びました。どうもありがとうございました。

※ボランタリーチェーン/独立小売店が同じ目的を持った仲間と組織化し、チェーンオペレーションを展開している団体